

二つ小舟中瀬ふけて二月事う分る迄日大のを食ひりす
 仍兼中一船の調練のそく少同溪の河和国町と牛久保町と左京
 別れ和国町の犬を五十疋程と牛久保町の犬を二十六疋あり毎日定時
 以て殺給七ッは孫存我の娘の犬
 和国町の犬は牛久保町の陣小舟にて
 伏せり我陣小舟は牛久保町の
 犬も同様のものをあしまう両丁の
 中程ある者畑陣取どく辰並び中て
 左右より一匹で出く立合捕獲をばせり
 中々あつたをけぞされとも時としく
 おもひ強とえぬを味方より又一疋出
 きて尾毛を咬てえとと接するもあり警
 牛久保町の舟持柳屋の馬鹿とて聞る
 一が和国町方の陣喰入人るあつて
 討死と覚悟の体中て敵三疋は喰
 殺し高も深入あしるを味方の
 大砲入尾をくくして引戻と
 ひとともあましくつひお殺死
 遂たりを廻り柳屋の舟
 二十人程行給を遠く大の
 食物をくくの加勢ふ
 中一がさる白い殺すし
 お引と成たりす人百の勢ふ
 おれを殺しし引る者あり
 又陣を引揚る討死は
 土をかきうくくし
 依り水戸及迫をすも
 見物の人群をあそぶ

